

ファーム・アライアンス・マネジメント「ファームレコーズ」「ファームチャット」の 総合防除における活用方法



Who



How



What

サービス対象

提供方法

短期のPDCA

長期のPDCA

農家
(ファームレコーズ)

作業履歴の登録内容をカスタマイズすることで、発生した病害虫の情報を圃場単位で収集し、リアルタイムに農場全体に共有できる(③)。



病害虫の被害状況を農場全体で圃場ごとにリアルタイム共有できるため、臨機防除等の対策に活用できる。

圃場ごとの作業履歴の蓄積から、新たな防除暦の作成や輪作体系の検討に寄与する。

通年の結果を踏まえ、ガントチャート（営農計画）を作成し、基幹防除の実施時期などを設定できる(④)。



作業の進捗を圃場単位で確認することができるため、基幹防除などの完了・未完了を確認しながら、着実に作業工程の管理ができる。

実績に基づき、データに基づいた営農・防除計画により、効率的な防除体系を築ける。

普及機関・農家
(ファームチャット)

- 病害虫防除所の予察情報をWAGRI APIを通じて取得、周知できる(⑨)。
- 病害虫の位置・発生情報をユーザー同士で共有できる(⑨)。



予察情報をもとに迅速に防除を実施し、被害を未然に防げる。

普及機関は、産地の病害虫情報等を元に、次作の防除対策を検討できる。

※番号毎の機能の詳細は、別途作成した「モデル事例（プロセス別の特徴とメリット）」を参照のこと